

教科	数学	科目	数学	単位	4単位	年次	中学1年
使用教科書	未来へひろがる数学1(啓林館)						
副教材	新中学問題集 発展編 数学1年						

1. 担当者からのメッセージ (学習方法等)

中学校1年生の数学は、今後の数学学習を左右すると言っても過言ではありません。わからない部分を残さないよう、1つ1つ丁寧に学習を進めて下さい。以下、3点を大切にしてください。

- ① わからないことは、先生や周りの人に聞くこと。
- ② 問題を通し、たくさんの「なぜ？」を感じ、考え、解決すること (なぜこの問題は難しく感じるのだろうか？ この式変形をする理由は？ など)
- ③ 問題集を活用し、理解を深めること。間違えた問題には印をつけ、2周目、3周目とわからない問題をどんどん無くしていこう。

2. 学習の到達目標

- (1) 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。
- (2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

3. 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 知識・技能	b: 思考・判断・表現	c: 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 主 旨	○個別の知識及び技能の習得状況について評価する。 ○それらを既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかについても評価する。	○各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかどうかを評価する。	○知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしているかどうかを含めて評価する。
評 価 方 法	単元テスト 小テスト等	単元テスト	<提出物> ・授業プリント ・問題集 ・テストやりなおしプリント (ふりかえりMathシート) ・レポート課題(出た場合のみ)

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4. 学習の活動

月	単元	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
4	1章 正の数・負の数	正の数・負の数の計算、利用	○	○		算数で学習した数の四則計算と関連づけて、正の数と負の数の四則計算の方法を考察し、表現できる。	課題提出・テスト
5	2章 文字の式	文字式の計算	○			文字を用いることのよさに気づいて粘り強く考え、文字を用いた式について学んだことを学習にいかそうしたり、文字を用いた式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしたりすることができる。	課題提出・テスト
6	3章 方程式	方程式の解き方	○			等式の性質を基にして、方程式を解く方法を考察し表現することができる。	課題提出・テスト
7		方程式の利用		○	○		課題提出・テスト
8		比例式の利用		○	○		課題提出・テスト
9	4章 変化と割合	関数とは	○			比例、反比例の関係を表、式、グラフに表すことができる。	課題提出・テスト
10		比例・反比例の式とグラフ	○	○			課題提出・テスト
11	5章 平面図形	移動と作図、円とおうぎ形	○			図形の性質に着目し、基本的な作図の方法を考察し表現することができる。	課題提出・テスト
12	6章 空間図形	立体の体積と表面積	○	○		空間図形の性質や関係を捉えることのよさに気づいて粘り強く考え、空間図形について学んだことを生活や学習にいかせる。	課題提出・テスト
1		立体の切断、ひもかけ問題		○	○		課題提出・テスト
2	7章 データの活用	ヒストグラムと相対度数			○	ヒストグラムや相対度数などのよさに気づいて粘り強く考え、データの分布について学んだことを生活や学習にいかし、多面的に捉えようとする。	課題提出・テスト

3		データにもとづく確率	○		○	多数の観察や多数回の試行によって得られる確率を活用した問題解決の過程を振り返って検討することができる。	レポート・テスト
---	--	------------	---	--	---	---	----------

※表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

※原則として一つの単元・題材で全ての観点について評価することとなるが、学習内容・小単元の各項目において重点的に評価を行う観点もしくは重み付けを行う観点について○を付けている。